

2 - 1 重点事業評価

事業名

子どもから高齢者・研究者まで、多様なニーズに対応できる資料の収集と提供

(1) 事業の概要

● 対象

子どもから高齢者・研究者まで、すべての年代の県民と本県に関心のある全国の人たち。

● 意図・目的

子どもから子育て世代、高齢者まで、幅広い年代向けの資料を収集するとともに、新潟県に関する郷土資料及び研究者のニーズに耐える専門書の充実を図ることにより、更なる利用の促進を図る。

● 具体的取組の概要

①新潟県に関する郷土資料の収集保存と提供について、より一層の充実を図る。郷土資料の貸出基準を緩和する一方で、閲覧・貸出用の資料を多数受入れし、貸出可能な郷土資料の点数を増やすことにより、利用の促進を図っていく。

②県民の多様かつ高度・専門化する調査研究活動を支援するための専門書・研究書の一層の充実を図る。また、パスファインダーの作成など、所蔵している郷土資料や専門書・研究書のPRを積極的に行うことで、利用の促進を図っていく。

③各コーナー（くらしガーデン、家庭とこどもの本、こども図書室、第2のオフィス、文芸、ユース、CD）を維持するとともに、図書館サービスの付加価値として、関連する講演会や講座を開催する。

(2) 指標①（本年度の目標）

項目（指標）	本年度の達成目標（数値）	成果
郷土資料の受入冊数	年間3,200冊	年間 4,234冊 (達成率132%)

指標②（本年度の目標）

(前年度実績 2,652冊)

項目（指標）	本年度の達成目標（数値）	成果
郷土資料の個人貸出冊数	年間10,000冊	年間11,891冊 (達成率119%)

(前年度実績 9,133冊)

(3) 事業評価（自己評価）

自己評価	A	郷土資料の受入冊数・個人貸出冊数とも、目標を大幅に上回る結果となった。
------	---	-------------------------------------

A 目標が十分に達成された。

B 目標がある程度達成された。

C 目標の達成が不十分である。

D 目標を達成することがほとんどできなかった。

項目	項目の解説	状況
必要性	利用者ニーズ又は図書館の使命や方針に照らして、妥当か。	郷土資料の収集保存と提供は県立図書館の重要な任務の一つであり、指標設定は妥当と考えられる。
有効性	期待される成果と実際の成果との関係。実績の向上がみられたか。	本年度の達成目標を、受入冊数は約2割、貸出冊数は1割上回る結果となり、期待以上の成果が得られた。
効率性	事業計画に対する内容や量、業務の運び方、進捗管理の妥当性等。	関係機関への寄贈依頼を今まで以上に積極的に行うとともに、貸出可能な郷土資料を増やすことや、閲覧室入口付近に「おすすめ郷土資料コーナー」設置など、計画的に資料の充実と貸出増加を図った。

(4) 次年度の展開

方向性・問題点・改善点など

郷土資料の充実は県立図書館の重要な使命であるので、引き続き、資料の収集・保存と利用増加を目指していきたい。

(5) 図書館協議会意見

郷土資料の収集保存と提供を重視する方向性、及び、目標値を超える実績に対しては、協議会として高く評価する。冊子「県立図書館でしらべよう 新潟県のこと」等のパスファインダーの作成や、閲覧室入り口の「おすすめ郷土資料コーナー」などは、郷土資料全般への関心を高める効果的な取り組みとして注目される。積極的な収集活動と、PR活動等による利用促進を図る取り組みの継続を期待するが、今後の展開については以下の意見が出された。

- 郷土資料の収集では、県内はもとより県域を超えた文物の交流など、県立図書館ならではの視点が大切である
- 寄贈依頼には、埋もれている資料の再確認や、関連機関との連携強化といった副次的な効果が期待できるため、今後も持続的な取り組みが重要である
- 関心の高い一部の人々だけではなく、幅広い対象が関心を持つような工夫が必要である。その意味で、パスファインダーについては、デザイン性の向上に努める必要があるのではないか

資料収集全般に関しては、「バランスがとれている」とする評価や、「市町村立図書館を支援できるような質・量の維持に努めるべきである」という意見が出された。